

原町赤十字病院だより

はらまちにつせき

TAKE FREE
ご自由にお持ちください。

No. 13

2018年5月

巻頭頁

院長あいさつ -2018年度を迎えて-

副院長就任のあいさつ/看護部長就任のあいさつ

新任医師紹介/前看護部長退任あいさつ/専門・認定看護師紹介

お知らせ/活動報告

外来診療予定表(巻末)



2018年度を迎え
新たに30名の職員が仲間になりました。

原町赤十字病院は「思いやりのある患者様本位の医療を推進し、地域社会に貢献する」との理念を掲げ、吾妻郡医師会の先生方や他病院や診療所、介護施設などとの連携のもとに地域医療、保健予防活動に努めてまいりました。また、赤十字の使命であります災害救護活動について、最近では新潟県中越沖地震、東日本大震災、熊本地震の大災害の際には救護班を現地に派遣して全国の赤十字病院と協働し救護活動をしてまいりました。毎年秋には当原町赤十字病院と日赤群馬県支部主催で、吾妻広域消防本部、吾妻保健福祉事務所などの多数の地元関係機関と共同で災害救護訓練を行っております。

現在、当院の診療状況は内科、外科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻科をはじめとする専門的医療、在宅医療、健診事業、がん診療などは着実に進化している半面、夜間救急医療、心筋梗塞や脳卒中に対する高度急性期医療は専門医等の不足で残念ながら対応が十分ではありません。入院治療のできる診療科は内科、外科、整形外科、耳鼻科、眼科（予定手術のみ）で、その他の

診療科は専門外来として群馬大学附属病院や前橋赤十字病院などからの非常勤専門医に担当いただいております。夜間の救急患者様に対しできるだけ広い範囲の疾患に対応するよう心がけておりますが、当直医の専門性を考慮して、入院治療など適切な専門医療をお受けいただくために他の施設での受診をお薦めすることが増えてしまっているのが現状です。

開院日の通常診療時間帯は、内科、外科、整形外科、小児科は毎日、耳鼻咽喉科はほとんど毎日外来診療を受け付けております。眼科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、脳外科、精神科、ペイン外来なども決まった曜日に診察しております。内科系でも予約制ではありますが、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓病内科・物忘れ外来・禁煙外来などの専門外来も行っております。受診の際は電話で確認してから来院していただくことをお勧めします。

また、今年度もさいたま赤十字病院と前橋赤十字病院から2年次の初期研修医が20名ほど「地域医療研修」としてそれぞれ1か月間ず

つですが、指導医の下で実際の診療を行う予定です。はつらつとした若い情熱で病院全体が活気づくようです。

今まで当院が掲げてきた総合診療的機能、救急医療、健診事業等の維持強化に加え、在宅医療では訪問看護ステーションを活用したがん緩和医療の拡充や、高齢者が安心して住み慣れた家で療養できるよう経験豊富な医師、訪問看護師が対応します。

引き続き地域の皆様には当院の診療体制を理解していただき、上手に利用していただけるよう積極的に広報活動を展開したいと思っております。皆様の健康の増進や疾病の予防、がん等の重症疾患の早期発見・早期治療、在宅医療の推進など、より病院の機能アップを図りたく存じます。

今後も皆様に思いやりのある温かな医療を提供し、吾妻地域で真に信頼される原町赤十字病院となるため、職員一同なお一層努力してまいりますので、皆様方のご指導、叱咤激励をよろしくお願いいたします。



平成30年4月1日付で、原町赤十字病院副院長を拝命いたしました。平成10年に原町赤十字病院整形外科に赴任して以来、早20年になります。整形外科は大きく分けて、各種骨折・靱帯損傷をはじめとする外傷と、変形性関節症や骨粗鬆症を代表とする退行性変性疾患を診断、治療する診療科でございます。対象年齢は赤ちゃんから高齢者までであります。私はこの20年間、他の整形外科医2名とともに、吾妻地域の整形外科的医療を、常に向上心を持って努めてまいりました。今後も、当院の基本理念である「思いやりのある患者様本位の医療を推進し、地域社会に貢献する」の下、地域の皆様に期待され、信頼される医療に、吾妻郡医師会の先生方や他病院や施設など様々の方に助けていただきながら、貢献できるように努力してまいります。今後ともよろしくお願い申し上げます。

この度、4月1日付で看護部長を拝命いたしました。

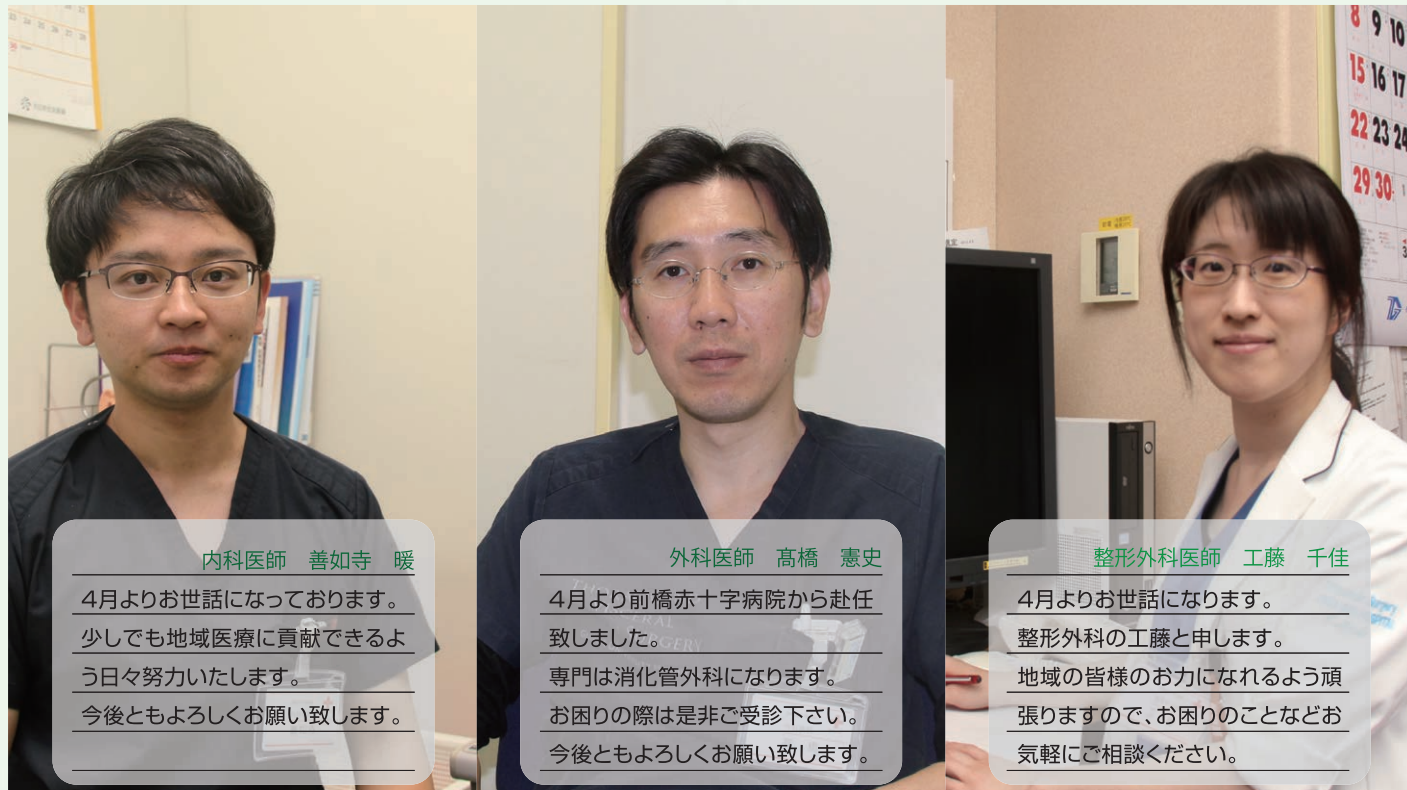
日頃より、皆様方には、原町赤十字病院の事業推進においてご支援、ご協力をいただきまして御礼申し上げます。原町赤十字病院は、昭和27年に開設して以来、吾妻郡内の中核的病院として地域の皆様に期待され、信頼されてきた地域になくてはならない病院です。このような歴史ある病院の看護部長に就任し、大変身の引き締まる思いです。病院の理念である「思いやりのある患者様本意の医療を推進し地域社会に貢献する」のもと、赤十字看護師として「思いやりのある、寄り添った看護」ができるよう日々努力しています。矢嶋前部長の方針を引き継ぎ、地域の皆様には「さすが日赤の看護師ですね」と評価していただけるよう、看護部一丸となって全力を尽くしていく所存です。

看護部では皆様に安心して受診・入院していただけるよう「安全・安心な質の高い看護サービスを提供する」ために、人材育成に力を入れております。また、昨今の看護師不足への対応として「ワーク・ライフ・バランスを推進し仕事と生活を両立でき、いきいきとやりがいを持って働き続けられる職場環境の整備」にも取り組んで離職率の低減を図っております。引き続き看護師確保に最大限努力して行くつもりですが皆様のお知り合いで看護師の方がいらっしゃいましたらご紹介していただくとありがたく存じます。

重責を担うことになり、身の引き締まる思いですが、地域の皆様に安全・安心な「思いやりのある看護」の提供ができるよう微力ながら看護部長として精一杯努力してまいりますので、引き続き皆様方のご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。



04 | 新任医師紹介



内科医師 善如寺 暖

4月よりお世話になっております。
少しでも地域医療に貢献できるよ
う日々努力いたします。
今後ともよろしくお願い致します。

外科医師 高橋 憲史

4月より前橋赤十字病院から赴任
致しました。
専門は消化管外科になります。
お困りの際は是非ご受診下さい。
今後ともよろしくお願い致します。

整形外科医師 工藤 千佳

4月よりお世話になります。
整形外科の工藤と申します。
地域の皆様のお力になれるよう頑
張りますので、お困りのことなどお
気軽にご相談ください。

05 | 前看護部長退任あいさつ 矢嶋 美恵子



平成30年3月31日をもって定年退職となりました。平成25年4月に原町赤十字病院、第7代看護部長として就任し、以降5年間という短い期間でしたが無事退職を迎えることが出来ました。在職中はたくさんのご支援、ご指導ありがとうございました。原町赤十字病院は、昭和27年に開設して以来、吾妻郡内の中核的病院として、地域の皆様に期待され、信頼され、愛されてきた歴史ある病院です。このような病院の看護部長という重責に、身の引き

締まる思いと、諸先輩方の功績に恥じないように努力しなければと誓った5年前のことが走馬燈のように思い返されます。地域の皆様の期待に応えることが出来るように、看護師はいつでも、どこでも、誰にでも、赤十字理念である人道・博愛の人間愛に基づいた看護が提供できるよう、看護師の人材育成に力を入れてきました。また看護師が生き生きとやりがいを持って働き続けることが出来るように、ワーク・ライフ・バランスの推進も進めてきました。看護師ひとり一人がとても大切な人材です。風通しの良い職場環境作りをしながら、看護の楽しさを実感できる組織を作ること、そして入院から退院後までを見据えた看護を実践することが、地域の皆様に「さすが日赤ですね」と評価していただくことにつながると確信し、やってまいりました。患者様やご家族の皆様へ、お褒めの言葉やおしかりの言葉を戴くことありますが、「さらに精進してがんばりましょう」と看護部一丸となって行動してまいりました。患者様やご家族様からのご指摘は、「たからもの」と思っております。今後も地域の皆様から忌憚のないご意見をいただき、「入院して良かった」と評価していただけるような、安全で質の高い看護サービスが提供できるように、継続して努力してまいります。5年間、大過なく勤務できましたことを感謝申し上げるとともに、吾妻地域と原町赤十字病院の益々の発展を祈念して、退任のご挨拶といたします。ありがとうございました。



専任・認定看護師紹介

乳がん看護認定看護師 柳澤 ちぐさ

Breast Cancer Nursing

乳がん患者は年々増加しており、女性の臓器別がん罹患率の第1位となっています。現在では、年間約9万人が乳がんと診断され、11人～12人に1人が「乳がんになる時代」とわれています。増加を実感できる具体的な数字としては、私が現在の認定資格を取得した2013年では、15人～16人に1人ということでした。わずか4年間で罹患患者数の変動を実感することで「乳がんになった私」を支えていくことの重要性を強く感じています。



治療法の選択

乳がんは若くして発症することが多く、長い間さまざまな不安や悩みを抱えます。好発年齢といわれる50歳前後では仕事や家庭内での役割が大きく、20歳代～40歳代では結婚や妊娠・出産への不安などがあげられます。このような様々なライフサイクルの中で、乳がん罹患したことで「治療方法の選択」という意思決定が求められます。治療といえど女性性の象徴でもある乳房を手術することによる乳房の喪失や変形、また抗がん剤による脱毛などにより「女性らしくない私」そして「自分らしさの喪失」といった葛藤に苛まれます。さらに、乳がんは他のがんに比べて治療方法が多いことから、初発治療後10年以上と長期に渡って経過を診ていくため、再発・転移の不安が続きます。このようなことから「乳がんである私」と向き合っていかなければなりません。最近メディアでは、乳がんについて取り上げられていることも多く様々な情報が錯綜しています。

多くの情報の中で、正しい情報もあれば間違った情報も多くあると感じています。乳がんは早期に発見されれば9割以上が命を守れる病気といわれています。また「乳がん」とひとくくりにしても乳がんには「種類」があります。例えば、ホルモン剤などの飲み薬だけや、抗がん剤が効くタイプもしくは両方効くタイプなどと、「乳がんの種類」によっても治療方法は様々です。

認定看護師として

私の取得している「乳がん看護認定看護師」の役割は、乳がん患者さんの告知から治療、また治療過程における意思決定支援や心理的支援を行っています。また、ご本人だけでなくそのご家族（パートナーや子供など）に向けた心理的支援などの役割も担っています。加えて、乳がん看護に関連する看護スタッフや多職種の相談および指導を行い、「乳がんとともに生活していくこと」を支えていく橋渡しの役割であると考えています。2017年7月現在、乳がん看護認定看護師は全国に342名、群馬県では3名が登録されています。乳がん治療において初期治療といわれる「手術療法」では入院期間が短い、あっという間に退院されていきます。しかし、短い期間であるのにもかかわらず、「手術後の生活はどのように過ごしたらいいのか?」「乳がんになった人に、治療の話をきいてみたい」「原町にも患者会みたいなものがあって、そういう場があればいいのに」など、話をしてみると多くの気持ちや要望があることに気がつきました。「看護師として



私にできることはなにか?」と摸索し、2013年に乳がん看護認定看護師の資格を取得しました。

卵の花会

2015年には様々な方からのお力をいただき、「乳がん患者会 卵の花会」が設立されました。当初は医療者が主導としていた部分もありますが、現在では企画・運営を患者会が主体となり、私はオブザーバーとして楽しく参加させていただいています。その活動の様子や会の運営に携わせていただくたびに「私が出来ること」ではなく、仲間同士で支えあい「自身の力で乳がんに向き合い、折り合いをつけて生きている」ということを目の当たりに感じています。

普及活動

そのほかの活動としては、地域の保健事業の一環として、乳がんの普及活動を通して地域住民の皆様と関わりを持たせていただいております。具体的には乳児検診における母親に対する自己検診法の指導や、骨密度検診においては、女性のライフサイクルに関連する病気として骨粗鬆症や乳がんのお話などをさせていただいております。また当院は、がんに関わる専門の看護師がほかにもおります。そのため今年度は中学生を対象にした「がん教育」をさせていただくことになっております。このような活動の中で「病院と地域における顔の見える関係性」を持たせていただき、がんに関わる看護師としてとしてはもちろんですが、地域の皆様に人間的に大きな成長をさせていただいていることや認定看護師が地域で活動できる場所の提供を持たせていただいていることに関し、大変感謝しております。最後に、先に述べましたが乳がんは長期的なケアが必要であり、ご本人だけでなく、パートナーや子供、ご両親などご家族を含めた支援が求められます。長い経過の中「乳がんになった私」と寄り添い、ともに悩みや気持ちを分かち合える「伴走者」でありたいと私は考えています。そして、私自身も女性であり、母親であり乳がんサバイバーの母を持つ「乳がん患者の家族」です。私が想う乳がん看護とは「女性の生き方」そのものを支援させていただくかけがえのない役割であることと自負しています。



医療機器整備



東吾妻町様より[新乳房用X線撮影装置]

詳しく観察することができます。そのため、乳腺内に隠れて見えにくい病変が発見しやすくなり、病変の詳細な情報も得ることができます。また、検査時に乳房を圧迫する際の痛みを伴うことがありますが、それ以外の体が触れる部分(わきの下やお腹)の機器の形状が薄く丸みのあるデザインなので、痛みの感じ方を軽減できるようになっています。

当院では最新の乳房用X線診断装置を導入し、さらに診断精度の向上に努めるとともに、女性技師(検診マンモグラフィ撮影認定技師)によるマンモグラフィ撮影で、みなさまの緊張を和らげ、リラックスして検査を受けていただけるよう、心がけていきたいと思っています。

放射線科部 内村 清香

日本では乳がんが年々増加し、女性が罹患するがんの1位になっています。その乳がんの早期発見に、マンモグラフィは有効な検査です。平成30年2月に新乳房用X線撮影装置、GE製のPristinaが導入されました。この装置は3D(トモシンセシス)機能が搭載されていて、通常のマンモグラフィと3D(トモシンセシス)マンモグラフィ撮影が可能です。3D(トモシンセシス)マンモグラフィでは撮影角度を変えて複数の方向から撮影し、収集したデータを3次元的に再構成することで、乳房を薄いスライスでより



多目的スペースの使用について

がんサロンでの利用

毎月第3土曜日の11:00～12:00までは、がんサロンとして使用いたします。がんと診断された方や治療中の方、そのご家族のお話し(お悩み)を、当院のがん相談支援員や群馬県から派遣されるピアサポーターがお伺いします。

がん患者会での利用

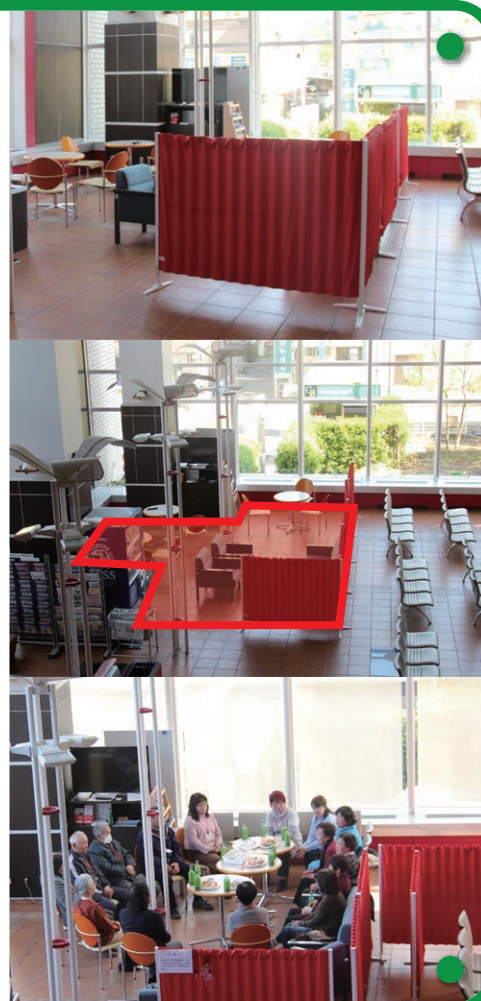
偶数月の第3土曜日の13:00～15:00までは、患者会で使用いたします。

各種ミニ講座の開催について

奇数月の第3土曜日は、13:00～15:00まで、当院の多職種職員によるミニ講座を開催いたします。講座の「テーマ」については、開催前に周知いたしますので、皆様のお越しをお待ちしております。

フリースペースとして住民の皆様がご利用することもできます。

地域の方々の趣味の会や創作物等の展示にも利用できますので、ご利用希望のある方は、総務課(0279-68-2711)までご連絡いただくか、窓口(総合受付)までお申し出ください。



第23回吾妻郡がん市民セミナー

4月7日(土)東吾妻町中央公民館を会場に「第23回吾妻郡がん市民セミナー」を開催いたしました。今回はがんの予防や早期発見に焦点をおき「内視鏡でわかるがん」をテーマに、健診で「ピロリ菌陽性」、「バリウム異常」、「便潜血陽性」と言われたらと題した医師による講演、「内視鏡検査」を受けるまでの流れについて消化器内視鏡技師による寸劇を交えた講演を行いました。医師による講演は、写真、データなどを含め症例を具体的に説明した内容であり、参加者も興味深い様子でした。内視鏡検査を受けるまでの寸劇を含めた講演は、当院消化器内視鏡センタースタッフによる寸劇の熱演もあり、会場から笑いも交えとても和やかな雰囲気となりました。参加者からも「講演、寸劇共にわかりやすい内容であった」などの声も聞かれ一般住民の方々にも分かりやすい講演会となりました。原町赤十字病院は、吾妻郡内唯一の群馬県がん診療連携推進病院として今後も継続してがん診療に取り組み、またがん市民セミナーも定期的に開催してまいりますので、ぜひご参加ください。



recruit

平成30年度日本赤十字社群馬県支部職員採用案内

募集概要

- 【職 種】総合職(一般事務)
- 【採 用 人 数】4名程度
- 【試 用 期 間】試用期間(3か月)
- 【勤 務 地】①日本赤十字社群馬県支部 ②前橋赤十字病院
③原町赤十字病院 ④群馬県赤十字血液センター
※①～④のいずれかに配属となります。採用後、施設間異動があります。

受験資格

- ・大学(大学院を含む)、短期大学のいずれかを、平成31年3月卒業見込みの方、または卒業後3年以内の方
- ・普通自動車運転免許を有する方(平成31年3月までに取得見込みの方含む)

試験日程及び会場

- 【第1次試験】書類選考(5月21日～6月15日消印有効)
※第4次試験までありますので詳細は日本赤十字社群馬県支部までお問い合わせください。

申込方法

- ・応募書類や応募書類提出方法については日本赤十字社群馬県支部のホームページを確認いただくか、日本赤十字社群馬県支部までお問い合わせください。

そ の 他

- ・労働条件やその他質問事項は日本赤十字社群馬県支部までお問い合わせください。

申込・問い合わせ

日本赤十字社群馬県支部 総務課 総務係
〒371-0833 前橋市光が丘町32-10 TEL:027-254-3636(代)
URL:<http://www.gunmajrc.dsbsv.net/>

外来診療予定表

受付時間：午前8時～午前11時

※診察券をお持ちでない方は、午前8時30分から

※補聴器購入調整は、毎週水曜日の午後2時から健診センターで受付します。

休診日：第2・第4土曜日、日曜日、祝日、創立記念日、年末年始（12／29～1／3）

※ 都合により休診することがあります。最新の情報につきましては、当院ホームページ等でご確認ください。

【ホームページ】<http://www.haramachi.jrc.or.jp/>

【電話】0279-68-2711

■一般外来

診療科			曜日	月	火	水	木	金	土 (第1・3・5週のみ)
内科	午前	初診 (予約以外)		高橋 和宏	大林 千草	木村 有宏	善如寺 暖	平野 裕子	鈴木 秀行
				中尾 雅美	田中 秀典	善如寺 暖	中尾 雅美	竹澤 二郎	平野 裕子
		再診 (予約)		平野 裕子	鈴木 秀行	高橋 和宏	鈴木 秀行	木村 有宏	木村 有宏
				竹澤 二郎 (健診後)	杉本 さやか	山田 昇司	竹澤 二郎	高橋 和宏	善如寺 暖
外科	午前			笹本 肇	内田 信之	内田 信之	高橋 憲史	笹本 肇	内田 信之
				岡田 寿之	高橋 憲史			岡田 寿之	岡田 寿之
整形外科	午前			高橋 敦志	福田 和彦	福田 和彦	福田 和彦	高橋 敦志	高橋・小林 (第1・3週)
				工藤 千佳	橋本 章吾	工藤 千佳			福田・高橋 (第5週)
婦人科	午前			井上 和子		井上 和子	小林 未央 (受付15時まで)		
	午後								
小児科	午前			坂爪 悟	坂爪 悟	坂爪 悟	八木 久子 (第1・3・5週) 滝沢 琢己 (第2・4週)	坂爪 悟	坂爪 悟
				藤生 徹	藤生 徹 (月祝日のみ)		植原 祥子	井上 貴博	
泌尿器科	午前						喜連 秀夫		
耳鼻咽喉科	午前			新國 摂	岡本 彩子		工藤 毅	紫野 正人	鎌田 英男
眼科	午前				高橋 牧 (第1・3・5週)		高橋 牧 (受付10時まで)	中村 考介	群大医師
皮膚科	午前				青山 久美			山中 正義	服部 麻衣 (第1・3週)
	午後 予約あり								
	午後 予約なし 受付時間 (15:30～16:00) ※小・中・高校生に限る※							山中 正義	
麻酔科	午前				寺田 政光				
脳神経外科	午前			群大医師			群大医師		

※眼科外来の火曜日は第1・第3・第5のみとなっておりますのでご注意ください。

■専門外来 (予約制)

診療科			曜日	月	火	水	木	金	土 (第1・3・5週のみ)
内科	精神 (心療内科)	午前		青山 義之 (第2週)					
	糖尿病	午前			下田 容子			笠井 裕子	笠井 裕子 (第1週)
		午後						笠井 裕子	
	呼吸器内科	午後			竹原 和孝		笠原 礼光		
	循環器	午後			庭前 野菊 (第1・3週)		佐鳥 圭輔 (第2・4週)		
	内分泌				吉岡 誠之				
	神経内科							長嶋 和明	
	腎臓						池内 秀和 (第1・3・5週)		
	禁煙					竹澤 二郎			
	物忘れ				竹澤 二郎 (第2・4週)				
						岡田 寿之 高橋 憲史	内田 信之		
外科	化学療法	午前					木下 照彦 (第2・4週)	内田 信之	
	乳腺	午後				永島 宗晃 (第1・3週)			
	呼吸器					岡田 寿之 (第2・4週)			
	ストーマ					内田 信之 (第2・4週)			
	肛門								
小児科	慢性	午後		藤生 徹			八木 久子 (第1・3・5週) 滝沢 琢己 (第2・4週)	井上 貴博	
							植原 祥子		

当院では健康診断、訪問看護サービス等も行っておりますので、お問い合わせください。

健診センター 電話 0279-68-0500

訪問看護ステーション 電話 0279-68-0566



病院敷地内全面禁煙です。
ご理解とご協力をお願いいたします。



原町赤十字病院

日本赤十字社 Japanese Red Cross Haramachi Hospital

